

地質ニュース

昭和 42 年 4 月

第 152 号

1967

解 説	日本付近の震源の分布 ……………鈴木尉元・1
	水銀の話 ① ……………山田敬一・34
	日本列島の生い立ちをさぐる ④-2 ……………河合正虎・42
トピックス	バイプロ・ハンマー試錐機 ……………丸山修司・10
	皇太子殿下に「地熱」のご進講 ……………早川正巳・14
	雪の新潟矢津地すべりを測る……………地 形 課 特殊技術課……………15
講 座	水井戸の話 ⑤ 影響圏……………村下敏夫・40
海外事情	結晶成長の国際会議 ① ……………砂川一郎・18
	堆積岩の研究手法 ⑥ ……………平山次郎 訳 水野篤行……………57
資 料	学会掲示板……………9

編 集 地 質 調 査 所

表紙の写真

安山岩の球状風化 能登路 1

七尾西湾に面した瀬風海岸はいかにも能登半島の内浦らしい穏やかな趣をもっている。

潮の退いた幅狭い磯を伝って行くと その一角に大小の球状の突起が波食面上にならんだ異様な光景に出あう。これは実は この地域の海岸をつくっている第三紀中新世の安山岩の風化によって出来た形なのである。このような球状構造は火山岩によくみられ 柱状節理と板状節理が共にある場合 両節理面の割れ目に沿って風化作用が進み 同心球の集まりになるもので 玉ねぎの皮をはがした形とそっくりなところから玉ねぎ状構造とふつう呼ばれている。写真の一番大きい球の直径は約 50cm である。

(盛谷智之)

発行 株式会社 実業公報社